

総合評価基準

「血管造影 X 線診断装置（バイプレーン血管撮影システム）」

日本郵政株式会社
東京通信病院

本評価基準については、「血管造影 X 線診断装置（バイプレーン血管撮影システム）」の仕様書に基づいて定めたものであり、評価に当たっては次により行います。

なお、落札者が入札者とともに提出した提案書の内容は、仕様書等と同様にすべて納入検査等の対象とします。

1 必須要件

提案書は、仕様書に定める要求要件をすべて満たす必要があります。

なお、基礎点は1800点とします。

ただし、一つでも仕様書に定める要求要件を満たしていない場合は、その後の評価は行わず、当該提案書を不合格とさせていただきます。

2 必須以外の要件

仕様書に定める要求要件を超える部分について、更に有効な提案が行われた場合は、その内容に応じて最高845点の点数を与えます。

なお、評価する提案内容及び配点については、「総合評価基準表」（別紙）のとおりとします。

絶対的評価結果	評価観点の重要度	
	一般項目（B）	
要件を満たしている	10	
要件を満たしていない	0	

相対的評価結果	評価観点の重要度	
	重要項目	一般項目
	A	C
相対的に優れている	15	5
相対的にやや優れている	12	4
標準である	9	3
相対的にやや劣っている	6	2
相対的に劣っている	3	1

総合評価基準表

1 必須要件

評価項目	評価観点	評価
仕様書に定める項目	仕様書に定めるすべての要件を満足する具体的な提案がなされていること。納入物については、その品名・数量が明記されていること。	合格 又は 不合格

(合格した場合は基礎点1800点を付与する。) …①(必須要件の点数)

2 必須以外の要件

評価項目	評価観点	重要度	配点
相 対 評 価 項 目			
提案する機器性能及び構成	1-2-2 (支持部 -90° から $+90^{\circ}$ 電動回転にてポジショニングできる場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	1-2-4 (RAO 185° 以上、LAO 120° 以上の回転範囲を有する場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	1-2-5 (Cr 90° 、Cd 90° 以上の回転範囲を有する場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	1-2-6 (静電容量センサーによる非接触式安全機構を搭載している場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	1-2-7 (無制限登録可能である場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	1-3-2 (ダブルCアームである場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	1-3-6 (無制限登録可能である場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	1-4-1 (循環油冷方式である場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	1-4-3 (陽極直径が 200mm 以上である場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	1-4-4 (最大陽極蓄積熱容量が 6400KHU 以上である場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	1-4-5 (陽極冷却率が 1750KHU/min 以上である場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	1-5-1 (循環油冷方式である場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	1-5-3 (陽極直径が 200mm 以上である場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	1-5-4 (最大陽極蓄積熱容量が 6400KHU 以上である場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	1-5-5 (陽極冷却率が 1750KHU/min 以上である場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	1-7-1 (21 cm \times 21 cm以下である場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	1-8-1 (長手方向の移動範囲が 120cm 以上、横手方向の稼働範囲は 36cm 以上である場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
1-8-2 (天板は 319cm \times 50cm 以上である場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10	

評価項目	評価観点	重要度	配点
	1-8-3 (寝台がどの位置に伸長した状態においても補助具なしでその場で心臓マッサージが可能である場合、加点として評価する。)	B	10
	1-8-4 (270° 以上の回旋が可能である場合、加点として評価する。)	B	10
	1-9-2 (輝度 850cd/m ² 、コントラスト比 3000:1 以上である場合、加点として評価する。)	B	10
	1-9-3 (前面プロテクトスクリーンにより表面硬度 7H 以上、防塵防滴仕様 IP21 以上である場合、加点として評価する。)	B	10
	1-9-4 (大画面モニタ上部に取り付け可能である場合、加点として評価する。)	B	10
	1-9-7 (25 種類以上のレイアウトパターンに対応している場合、加点として評価する。)	B	10
	1-9-8 (操作室、検査室から入れ替え操作が行え、装置に搭載の撮影条件等の設定が行えるタッチパネルコントローラで行える場合、加点として評価する。)	B	10
	1-9-9 (長手方向 3300 mm 以上、横手方向 2930mm 以上、行える場合、加点として評価する。)	B	10
	1-9-10 (上下動は 12mm/sec 以上の電動で行える場合、加点として評価する。)	B	10
	1-10-1 (17 段階以上切り替え可能である場合、加点として評価する。)	B	10
	1-10-4 (ライブ透視画像の最大 5 倍以上の任意デジタルズーム、パンニング操作がタッチパネル式コントローラの指操作で任意行える場合、加点として評価する。)	B	10
	1-10-5 (透視保存機能は、操作室および検査室のベットサイドコントローラおよびフットスイッチで行える場合、加点として評価する。)	B	10
	1-10-8 (タッチパネル式コントローラ上に画像を表示し指操作で画像処理が行える場合、加点として評価する。)	B	10
	1-10-9 (転送しなくても本体コンソール上で実施できる場合、加点として評価する。)	B	10
	1-10-10 (装置本体に保存されている画像で透視、撮影中に実施できる場合、加点として評価する。)	B	10
	1-10-10 (タッチパネル式コントローラ上の画像に指操作で解析が行える場合、加点として評価する。)	B	10
	1-10-11 (タッチパネル式コントローラでトリガーディスプレイを設定し、ECG 信号をトリガリングさせた透視、撮影が行え、心周期の位相と同期が行える場合、加点として評価する。)	B	10
	1-10-14 (PNG、MPEG4 フォーマットとでの記録が可能である場合、加点として評価する。)	B	10

評価項目	評価観点	重要度	配点
	1-11-1 (最大 1.0mmCueq 以上である場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	1-11-2 (最も厚いフィルターで設定した場合でも自動退避しない常時固定挿入式である場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	1-11-3 (線量低減に関しては 30 以上の医学論文 (文献引用影響率を有する) にて報告されている場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	1-11-5 (空気カーマの算出方法は術者の散乱線増加を考慮し、面積線量計を使用せず計算値にて算出できる場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	1-12-2 (タッチパネル式コントローラにて、本体画像閲覧、ライブ画像表示、任意選択した画像の再生が可能である場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	1-12-4 (ワイヤレスリモコンにて検査室および操作室から操作が可能である場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	1-12-5 (描画されたデータはライブモニター上に透視画像に重ね合わせできる場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	1-12-5 (透視画像と重ね合わせた画像は、テーブル移動、インチサイズ変更、SID 変更においてもリアルタイムに追従する場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	1-12-6 (さらに FOV/コリメータ・補償フィルタ位置を含めてワンボタンで再現できる場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	1-13-1 (正面用アームにて患者頭側および患者左側設置による高速回転が行える場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	1-13-1 (タッチパネル式コントローラ上に 3D 画像が表示され、3D 画像の回転/パンニング/ズームなど操作が行える場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	1-13-2 (3D 画像の投影濃度や色の変更がタッチパネル式コントローラで行える場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	1-13-4 (正面用アームにて患者頭側および患者左側設置による高速回転が行える場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	1-13-4(コーンビーム CT 撮影は LA055° から RA0185° のオフセット回転範囲で撮影可能である場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	1-13-7 (往復回転撮影にて多層コーンビーム CT 撮影が行える場合、加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	3-1-2 (16GB 以上を有する場合には加点として評価する)	<i>B</i>	10
	3-1-7 (フルキーボードからスティムレータ操作や画面アップロードといったショートカットキーを有する場合には加点として評価する。)	<i>B</i>	10
	3-2-1 (19 インチワイドの TFT 液晶ディスプレイを選択できる場合には加点として評価する。)	<i>B</i>	10

評価項目	評価観点	重要度	配点
	3-2-2 (8分割以上の場合には加点として評価する。)	<i>B</i>	<i>10</i>
	3-2-3 (80ch 以上の場合には加点として評価する。)	<i>B</i>	<i>10</i>
	3-4-1 (OSはMicrosoft 社製 Windows10 IoT Enterprise 2019 LTSC 以上の性能、機能を有する場合には加点として評価する。)	<i>B</i>	<i>10</i>
	3-4-1 (Microsoft Office 2019 Word, Excel を有する場合には加点として評価する。)	<i>B</i>	<i>10</i>
	3-4-1 (Adobe Reader を有する場合には加点として評価する。)	<i>B</i>	<i>10</i>
	3-5-3 (タイマーカウント一定インターバルにつき通知する機能を有する場合には加点として評価する。)	<i>B</i>	<i>10</i>
	3-5-7 (図形を書く事ができる場合には加点として評価する。)	<i>B</i>	<i>10</i>
	3-5-7 (波形色はカラーパレットの基本色だけでなく色の作成までできる場合には加点として評価する。)	<i>B</i>	<i>10</i>
	3-5-8 (イベントリストに入力した文字に応じて事前に登録した定型文からコメントの予測入力ができる場合には加点として評価する。)	<i>B</i>	<i>10</i>
	3-6-7 (不整脈通知機能を有する場合には加点として評価する。)	<i>B</i>	<i>10</i>
	3-7-8 (キャリパーは無制限に表示できる場合には加点として評価する。)	<i>B</i>	<i>10</i>
	3-7-9 (10 回以上できる場合には加点として評価する。)	<i>B</i>	<i>10</i>
	3-8-4 (検査終了時に不要な波形は削除できる場合には加点として評価する。)	<i>B</i>	<i>10</i>
	3-9-1 (レポートは PDF で出力が可能である場合には加点として評価する。)	<i>B</i>	<i>10</i>
	3-9-1 (レポートフォーマットはカスタマイズ可能である場合には加点として評価する。)	<i>B</i>	<i>10</i>
	3-9-1 (1 ボタンで任意のコメント付きの波形レポートを作成できる場合には加点として評価する。)	<i>B</i>	<i>10</i>
「必須以外の要件」絶対評価点数 小計		…②	710点

評価項目	評価観点	重要度	配点
相対評価項目			
スケジュール管理	調達仕様書に定める内容ごとに作業項目・納入内容・入れ替えに伴う休止期間・納入完了時期を網羅したスケジュールが最適かつ具体的に記述されているかを評価する。	A	15
プロジェクト管理	仕様の実現のために最適な手法および体制（役割・要員・責任体制・後方支援等）に関して具体的な提案が記述されているかを評価する。	A	15
リスク管理	想定されるリスクに関して、具体的な検討がなされ、その対策が記述されているかを評価する。	A	15
品質管理	成果物の品質を確保するための品質の管理基準を定量的に明らかにし、具体的な方式・手順・検証方法等が具体的に提案されているかを評価する。	A	15
セキュリティ管理	ウイルス対策・病院情報・個人情報保護等のセキュリティ対策、事故発生時の対応に関して、最適かつ有効な提案をされているかを評価する。	A	15
性能の検証	仕様の実現のために要求される能力を検証するために信頼性の高い検証方法が提案されているかを評価する。	A	15
ランニングコスト	業務の継続性の観点から、納入後の保守、消耗品の購入及び改修等におけるコストの軽減に関して、最適かつ有効な提案をされているかを評価する。	A	15
保守	納入物の保守・問い合わせに関する体制（対応時間・配置要員、保有資格・実務経験等）が最適かつ具体的な提案が記述されているかを評価する。	A	15
人権尊重の取組み	人権尊重に関する方針やガイドラインを策定してホームページ等で公表し、かつ、有効な取組みを行っているか。	C	5
CSRの取組み	バリアフリー環境整備、地域貢献又は環境保護などのCSR取組み状況	C	5
その他	上記のほかに、特に本件について有用となる提案を評価する。	C	5
「必須以外の要件」相対評価点数 小計		…③	135点
「必須以外の要件」（＝絶対評価+相対評価）点数		…④＝②+③	845点
「必須要件」（基礎点）と「必須以外の要件」の合計点数		…①+④	2645点